

# 6班

中国 中村  
宮岡 高橋  
上家 猪本



## テーマ: すべての人の立場を公正し、協力し合える世界にするには

### 研究動機

私たちは、人々はなぜ「自分がする」という気持ちをもて物事に取り組まないだろうと思った。例えば教室ゴミの量を減らそうという目標ができたとする。中には、しっかりと意識して取り組む人もいるだろうが、多くは「誰かがやってくれるだろう」と他人まかせになってしまっているのが現実だ。このままではSDGsの目標など達成できるはずがない。それを改善する「しくみ」はないかと探したところ見つけたのが「ESG投資」という「しくみ」だった。ESG投資を調べると「フェアトレード」という言葉が目についた。「ム!これは!」と思い調べると、やはりESG投資と深いつながりがあり、さらには、SDGの8つの目標に関わるということが分かった。したがって私たちは「ESG投資」と「フェアトレード」について調べることでも「すべての人の立場を公正し、協力し合える世界」にする「しくみ」を見つけることができるのではないかと考えた。

研究内容	ESG投資
<p>フェアトレード</p> <p>年々関心が高まっているのになぜ認知規模に限定なのか。通常価格に対して3~4倍の差がある商品が数多くあるのはなぜか。</p> <p>ヨーロッパでは、多くの流通を取り扱われているのにアジアやアメリカの方面ではなぜ少ししか取り扱われていないのか。</p> <p>なぜヨーロッパでは多くの流通では非認証の商品との価格差が大きいのか。</p>	<p>なぜ金利(貸したお金に対する利息の割合)が低いのか。長期資金が必要な洋上風力や地熱発電への投資が拡大していないのか。</p> <p>なぜ「短期主義(ショートズム)」の解決されないのか。再生可能エネルギーの固定価格取引制度により太陽光発電の促進に偏りすぎているのか。</p>

### 研究の意義・価値

フェアトレードとESG投資を研究し、促進させることで、不公平な貿易や貧困の解決につながる。また、ESG投資の拡大やその仕組みを理解することで様々な問題の解決につながる。例えば、とある企業がフェアトレードを行い、経済が発展する。先進国の商品は値上がりする。普通なら値上がりした商品は、あまり人々には買われず、利益が下がり、企業は損をしているように思えるかもしれない。しかし、企業はフェアトレードという、SDGsに関する取り組みを行ったことになるので、その企業にESG投資を行うと考えられる。このような企業が増加することで、環境、社会、企業統治が良くなっていくのではないかと考える。

